

科目名 (英)	導入教育 (Introductory Education)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	田中 美月
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 —
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 学生への教育的指導・生活指導に携わる教員が授業を担当する。 学校生活を快適に過ごせるよう、学校のルール・使い方の理解を深めて欲しい。 またクラスメイトを意識しながら「このクラスで2年間、勉強や資格・就職に頑張って取り組もう」「よしやるぞ!」という意識を持って臨んで欲しい。							
【到達目標】 ・目指す職業について理解し、2年間の過程の中での1年間の目標を設定できる ・同じ目標を持ったクラスメイトと信頼関係を築ける ・学校生活を円滑にスタートさせることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 ・配布資料				【授業外における学習】			
回 授 業 概 要				回 授 業 概 要			
1 【授業単元】 担任・学科スタッフ紹介／導入教育についての位置づけ 【授業形態】 講義 【到達目標】 担任・学科スタッフ紹介 医療事務総合学科の1年間の流れや 導入教育が重要なスタートであることを理解する 健康診断/学生証の回収、提出物の回収				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
2 【授業単元】 新入生オリエンテーション 【授業形態】 演習 【到達目標】 各部署の利用方法や、在校生からのプレゼンテーションを聞いて 学校生活をイメージすることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
3 【授業単元】 導入教育について 【授業形態】 演習 【到達目標】 導入教育について、1年間の流れについての確認を実施 JTSCとteams.zoomの説明を理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
4 【授業単元】 学則・シラバスについて 【授業形態】 講義 【到達目標】 学則とシラバスの読み合わせで履修のための理解を深める				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
5 【授業単元】 葛西周辺ウォークラリー 【授業形態】 演習 【到達目標】 葛西周辺を歩くウォークラリーでチーム力を高める				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
6 【授業単元】 葛西周辺ウォークラリー 【授業形態】 演習 【到達目標】 葛西周辺を歩くウォークラリーでチーム力を高める				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
7 【授業単元】 資格・科目オリエンテーション 【授業形態】 演習 【到達目標】 資格検定や科目に向けたオリエンテーションを実施 検定の流れとともに教科書を配布 これから授業を受けるにあたっての心構えを身に着ける				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
8 【授業単元】 導入教育の振り返り/入学式に向けての最終確認 【授業形態】 演習 【到達目標】 2日間の導入研修を振り返り 翌週からの学校生活を円滑にスタートさせることができる 「よしやるぞ!」という気持ちを持って入学式に臨むこと ができる				【評価方法について】 出席状況、提出物、レポートを総合的に勘案して評価する 評価は学則規定に準ずる			
【特記事項】							

科目名 (英)	キャリアデザイン ( Career Design )	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	田中 美月
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日 1時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 学生への教育的指導・生活指導に携わる教員が授業を担当する。 社会人として、医療事務に携わる人材として、社会人基礎力や「身構え・気構え・心構え」を身につけるための授業を行う。 仕事はチームでしていくものである。クラスの活動を通じて、他者と協力して取り組むことを大切にすること。							
【到達目標】 目標設定を行い、それを達成するための具体的な行動に移すことができる。 医療事務の基本的なスキルとマインドを身につけることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 Hand-book of Life Style				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 クラスルールの決定/面談スケジュールの確認/アンケート実施 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 クラスルールを決定すること。また、面談スケジュールの確認とキャリアサポートアンケートを実施する。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 社会人基礎力を養う/GWの過ごし方とBBQ行事に関する事前学習 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 グループワークを通じて9つの社会人基礎力を養い、身につける。クラスメイトとのコミュニケーションやグループワークを通じて、自分を表現すること・他者の多様性を受け入れることができるようになる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 検定案内/定期試験前と検定対策について 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 医療秘書技能検定と医事コンピュータ技能検定の要綱の最終案内 および検定試験前のお知らせと検定対策授業についての解説を行う				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 サービスマインド研修について 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 サービスマインド研修前の心構えと内容を確認、および研修に向けた準備を行う。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 サービスマインド研修 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 サービスマインドとホスピタリティについて学ぶ。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 夏休み前の過ごし方 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 夏休み前の過ごし方を確認する。“アルバイトについて”。また、回転式で学生面談を実施予定。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 キャリアセンターの紹介と《仕事について》 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 “社会人として働くこと”について話を聞き、仕事についての初歩を理解することができる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験、解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 記述を主にした定期試験を実施。				【評価について】 小テスト(40点満点) 実施方法:感想・提出 定期試験(60点満点) 実施方法:記述を主にした筆記試験		
【特記事項】							

科目名 (英)	コミュニケーションスキル (Communication skill)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	國友 幸恵
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜日 1時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 16年間、洋菓子メーカーにて勤務。多種形態店舗の店長を経験後、本社営業研修課での社員教育、教育ツール作成等に携わる。ダブルケア(育児と介護)での離職経験、大学の社会再復帰講座受講を経て、研修講師として活動を開始。老人福祉施設や児童福祉施設でのボランティア活動も行う。レジリエンス、アンガーマネジメント、褒め言葉に関する資格を有し、授業においても多方面からアプローチする術を持つ。さらに人材とは“人財”であるからこそ、自分と他者を認め、誰かの役に立てる幸せを自覚出来る授業を実施する。							
【到達目標】 ・社会で通用するコミュニケーション力を身につけ、実際に行動出来るようにする ・コミュニケーションスキルアップ検定に合格する ・効果的なコミュニケーション方法を知識として得た上で、社会生活で応用出来る							
【使用教科書・教材・参考書】 ・テキスト「コミュニケーションスキルアップ検定」 ・配付資料 ・ワークシート				【授業外における学習】 ・挨拶や返事など、基本的なことを確実に実行する			
回	授業概要			回	授業概要		
1・2	【授業単元】 コミュニケーションの本質を知る 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・コミュニケーション「伝え合って共有すること」を理解する ・コミュニケーションの領域理解と人間関係の輪の広げ方を身につける ・コミュニケーションのプロセスから、会話のやりとりを理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3・4	【授業単元】 相手の気持ちになって聞くことの大切さを学ぶ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・コミュニケーションスキルの「聴く」の基本行動が出来る ・コミュニケーションスキルの「話す」の基本行動が出来る ・メラビアン法則を体感する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5・6	【授業単元】 グループでの会話 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・グループでの会話の基本を具体的に実施出来る ・グループの存在目的を述べる事が出来る ・グループで役割に応じた行動が取れる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7・8	【授業単元】 自己表現スキル 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・人間関係を円滑にする表現方法を説明出来る ・仕事上で必要とされる表現方法を実施する ・伝え方の基本「結論から話す」の重要性を感じる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
9・10	【授業単元】 感情の対処方法を学ぶ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・アンガーマネジメントの正確な理解を知る ・怒りの感情との上手な付き合い方を実施する ・怒りを爆発させないテクニックを自身で1つ以上持つ				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
11・12	【授業単元】 社会人の基本的マナー、ふるまいを学ぶ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・挨拶や自己紹介をする意味を推測する ・こころを表す行動を実施する ・敬語、電話、訪問の知識に触れる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
13・14	【授業単元】 社会的スキルの文書作成における実践を学ぶ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・文書作成のルールに触れる ・社会的文書を模写出来る ・手紙・メール・FAXの書き方を実践する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
15	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・定期試験実施 ・解答&解説				【評価方法について】 評価は筆記試験で行う 授業内で勉強した知識を使い、即現場で使えるように出題する。 小テストの合計(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	コミュニケーションスキル (Communication skill)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	國友 幸恵
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜日 1時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 16年間、洋菓子メーカーにて勤務。多種形態店舗の店長を経験後、本社営業研修課での社員教育、教育ツール作成等に携わる。ダブルケア(育児と介護)での離職経験、大学の社会復帰講座受講を経て、研修講師として活動を開始。老人福祉施設や児童福祉施設でのボランティア活動も行う。レジリエンス、アンガーマネジメント、褒め言葉に関する資格を有し、授業においても多方面からアプローチする術を持つ。さらに人材とは"人財"であるからこそ、自分と他者を認め、誰かの役に立てる幸せを自覚出来る授業を実施する。							
【到達目標】 ・社会で通用するコミュニケーション力を身につけ、実際に行動出来るようにする ・コミュニケーションスキルアップ検定に合格する ・効果的なコミュニケーション方法を知識として得た上で、社会生活で応用出来る							
【使用教科書・教材・参考書】 ・テキスト「コミュニケーションスキルアップ検定」 ・配付資料 ・ワークシート				【授業外における学習】 ・挨拶や返事など、基本的なことを確実に実行する			
回	授業概要			回	授業概要		
1・2	【授業単元】 コミュニケーションの本質を知る 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・コミュニケーション「伝え合って共有すること」を理解する ・コミュニケーションの領域理解と人間関係の輪の広げ方を身につける ・コミュニケーションのプロセスから、会話のやりとりを理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3・4	【授業単元】 相手の気持ちになって聞くことの大切さを学ぶ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・コミュニケーションスキルの「聴く」の基本行動が出来る ・コミュニケーションスキルの「話す」の基本行動が出来る ・メラビアンの法則を体感する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5・6	【授業単元】 グループでの会話 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・グループでの会話の基本を具体的に実施出来る ・グループの存在目的を述べる事が出来る ・グループで役割に応じた行動が取れる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7・8	【授業単元】 自己表現スキル 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・人間関係を円滑にする表現方法を説明出来る ・仕事上で必要とされる表現方法を実施する ・伝え方の基本「結論から話す」の重要性を感じる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
9・10	【授業単元】 感情の対処方法を学ぶ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・アンガーマネジメントの正確な理解を知る ・怒りの感情との上手な付き合い方を実施する ・怒りを爆発させないテクニックを自身で1つ以上持つ				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
11・12	【授業単元】 社会人の基本的マナー、ふるまいを学ぶ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・挨拶や自己紹介をする意味を推測する ・ところを表す行動を実施する ・敬語、電話、訪問の知識に触れる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
13・14	【授業単元】 社会的スキルの文書作成における実践を学ぶ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・文書作成のルールに触れる ・社会的文書を模写出来る ・手紙・メール・FAXの書き方を実践する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
15	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・定期試験実施 ・解答&解説				【評価方法について】 評価は筆記試験で行う 授業内で勉強した知識を使い、即現場で使えるように出題する。 小テストの合計(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	パソコン(基礎) ( Computer )	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	(株)ブレーンスタッフコンサルタンツ
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分	前期 木曜日 4時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】							
滋慶学園グループのコンピュータ関連企業に所属しており、複数の専門学校にて学生へのPC講義や教職員へのPC研修を実施している。							
＜学習内容＞							
・コンピュータネットワーク環境の適切な利用を学ぶ ・Wordで複合文書を作成する ・Excelの基本操作やデータベース、効果的なグラフの作成方法を学ぶ ・メールマナーを学ぶ							
【到達目標】							
・新しいテクノロジーや情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく活用できる ・Wordを利用し、複合文書の作成ができる ・Excelを利用し、表計算や表、グラフの作成ができる ・マナーを理解し、メールを送信できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
滋慶学園グループの学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用				次回講義までに不明な操作をe-learning(インターネット上のテキスト)で確認しておく			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 CCT入門1 【授業形態】 演習 【到達目標】 講座を受講する意義を理解し、PCの基本操作ができる			9	【授業単元】 メールマナー 【授業形態】 演習 【到達目標】 受け取り手に好印象を与えるメールのマナーを知り、メール機能を使いこなすことができる		
2	【授業単元】 CCT入門2 【授業形態】 演習 【到達目標】 新しいテクノロジーや情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく上手に活用できる			10	【授業単元】 Excel基礎1+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる		
3	【授業単元】 CCT入門4 【授業形態】 演習 【到達目標】 Officeの基本操作ができる			11	【授業単元】 Excel基礎2+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 関数を駆使した資料を作成できる		
4	【授業単元】 Word基礎1+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる			12	【授業単元】 Excel基礎3+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 グラフを駆使した資料を作成できる		
5	【授業単元】 Word基礎2+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 画像や図形を駆使した文書を作成できる			13	【授業単元】 Excel応用A(データベース) 【授業形態】 演習 【到達目標】 データベース機能を理解し活用できる		
6	【授業単元】 Word基礎3+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 表を駆使した文書を作ることができる			14	【授業単元】 Excel試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 Excel基礎で習ったことを実践できる		
7	【授業単元】 Word試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 Word基礎で習ったことを実践できる			15	【授業単元】 Excel試験 【授業形態】 演習 【到達目標】 定期試験 Excel資料作成		
8	【授業単元】 Word中間試験 【授業形態】 演習 【到達目標】 中間試験 Word資料作成			【評価方法について】 評価は実技試験で行い、授業内で説明した機能の理解、操作の定着度を確認する。中間試験(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	パソコン(基礎) ( Computer )	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	(株)ブレインスタッフコンサルタンツ
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 火曜日3時限/ 火曜日1時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 滋慶学園グループのコンピュータ関連企業に所属しており、複数の専門学校にて学生へのPC講義や教職員へのPC研修を実施している。 <学習内容> ・PowerPointを利用して、聴衆者に訴求力のある効果的なスライドを作成できる ・Excelを用いた基礎的な統計処理 F検定(分散の検定)、t検定(独立2標本の母分散が等しい平均値の差、独立2標本の母分散が等しくない平均値の差)							
【到達目標】 ・Excelを用いた基礎的な統計処理ができる ・PowerPointを利用し、効果的なスライドの作成ができる							
【使用教科書・教材・参考書】 滋慶学園グループの学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用				【授業外における学習】 次回講義までに不明な操作をe-learning(インターネット上のテキスト)で確認しておく			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 就職送付状作成、PDF変換 【授業形態】 演習 【到達目標】 就職活動の際に使用する送付状など、目的に合わせたビジネス文書を作成できる			9	【授業単元】 PowerPoint1(基本操作) 【授業形態】 演習 【到達目標】 プレゼンテーションソフトの基本操作ができる		
2	【授業単元】 初級データサイエンス(統計編)1 【授業形態】 演習 【到達目標】 データの特徴を数値化できる(平均、分散、標準偏差)			10	【授業単元】 PowerPoint2(表現力を上げる) 【授業形態】 演習 【到達目標】 図形や画像を活用したスライドを作成できる		
3	【授業単元】 初級データサイエンス(統計編)2 【授業形態】 演習 【到達目標】 データの特徴を視覚化できる1(基本統計量を求める、ヒストグラムの作成)			11	【授業単元】 PowerPoint3(動きを付ける) 【授業形態】 演習 【到達目標】 スライドに動きを付け、全てのスライドを完成できる		
4	【授業単元】 初級データサイエンス(統計編)3 【授業形態】 演習 【到達目標】 データの特徴を視覚化できる2(散布図、相関係数を求める)			12	【授業単元】 PowerPoint 【授業形態】 演習 【到達目標】 フォントや配色などを工夫して見やすいスライドに編集できる		
5	【授業単元】 初級データサイエンス(統計編)4 【授業形態】 演習 【到達目標】 統計的検定を実施できる1			13	【授業単元】 PowerPoint4(発表) 【授業形態】 演習 【到達目標】 作成したスライドを使って発表できる		
6	【授業単元】 初級データサイエンス(統計編)5 【授業形態】 演習 【到達目標】 統計的検定を実施できる2			14	【授業単元】 PowerPoint試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 PowerPoint授業で習ったことを実践できる		
7	【授業単元】 初級データサイエンス試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 初級データサイエンス(統計編)で習ったことを実践できる			15	【授業単元】 PowerPoint試験 【授業形態】 演習 【到達目標】 定期試験 PowerPoint資料作成		
8	【授業単元】 初級データサイエンス中間試験 【授業形態】 演習 【到達目標】 中間試験 Excelを活用した統計処理			【評価方法について】 評価は実技試験で行い、授業内で説明した機能の理解、操作の定着度を確認する。中間試験(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	他職種理解 (Another Occupation Understanding)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	田中 美月
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中講義
【授業の学習内容と心構え】 学生への教育的指導・生活指導に携わる教員が授業を担当する。 学生個々が希望する進路において、そこで求められる他職種との連携の基本となる他職種理解を深める授業を行う。 この授業の先に目指す現場があることをイメージしながら、その現場で求められると考えられる行動・姿勢を考えて授業に臨んでほしい。							
【到達目標】 他職種を知り経験することで同じ医療職として働く人や、患者様の日常生活を取り巻く医療環境に関心を向ける。 他職種の“医療に関する予備知識や教養”を身に着け、医療事務としての知見を広げる。							
【使用教科書・教材・参考書】 講師作成資料				【授業外における学習】 講義を受ける他職種の、業務内容や現場での役割などを事前にリサーチしておくこと。その過程で疑問に思ったことは当日質問できるようにしておくこと。			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】看護[電子カルテと看護連携]岡嶋先生・三宮先生 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 看護学科の学生とともに、看護の連携を意識した電子カルテの運用や関わりについて学ぶ。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】看護[電子カルテと看護連携]岡嶋先生・三宮先生 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 看護学科の学生とともに、看護の連携を意識した電子カルテの運用や関わりについて学ぶ。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】看護[電子カルテと看護連携]岡嶋先生・三宮先生 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 看護学科の学生とともに、看護の連携を意識した電子カルテの運用や関わりについて学ぶ。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】看護[電子カルテと看護連携]岡嶋先生・三宮先生 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 看護学科の学生とともに、看護の連携を意識した電子カルテの運用や関わりについて学ぶ。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】歯科衛生士科コラボ 地域連携 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 歯科分野の基礎的な知識や、病気への関わり。歯科助手としてできる簡単な体験を実施。歯が健康にどう影響を及ぼすのかを学びながら、医療事務として地域連携学習に貢献し、地域との交流を図る。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】歯科衛生士科コラボ 地域連携 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 歯科分野の基礎的な知識や、病気への関わり。歯科助手としてできる簡単な体験を実施。歯が健康にどう影響を及ぼすのかを学びながら、医療事務として地域連携学習に貢献し、地域との交流を図る。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】歯科衛生士科コラボ 地域連携 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 歯科分野の基礎的な知識や、病気への関わり。歯科助手としてできる簡単な体験を実施。歯が健康にどう影響を及ぼすのかを学びながら、医療事務として地域連携学習に貢献し、地域との交流を図る。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】定期試験・解説 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 定期試験の実施と解説				【評価について】 出席点(40点満点) 定期試験(60点満点) 実施方法:記述を主にした筆記試験		
【特記事項】							

科目名 (英)	就職対策講座 I (Measures Employment Seminar I)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	横 美穂
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日 4時限
<b>【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】</b> 企業における人材育成にも携わり、専門学校や大学で長年にわたって就職指導をしてきた教員が、就職活動に必要なマナーと好感度の高い履歴書を作成するための授業を行う 後半は筆記試験対策とする 課題提出は必須であり、提出が遅れると次に進めないため、提出期限厳守で授業に臨んでほしい 社会人になるという自覚と就職に対する強い意欲をもって受講すること							
<b>【到達目標】</b> 実習先に提出する履歴書を完成させる 自己分析を通して「何ができるのか」「何がしたいのか」を明確にし、就職活動に活かすことができる 就職活動に必要なマナーを身につける							
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> プリント資料				<b>【授業外における学習】</b> 授業単元に書かれていることが毎回の提出課題になるので、セールスポイントやエピソードなどを思い起こし、あらかじめ書き出しておくことが望ましい			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	<b>【授業単元】</b> 履歴書作成時の注意点 自己分析① <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> 履歴書作成時の注意点が理解できる 実習先に出す履歴書と就職先に出す履歴書の違いが理解できる 自分の強み、弱み、価値観を明確にすることができる			9	<b>【授業単元】</b> SPI・一般常識対策 <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> 出題の傾向を知り、解法のパターンを身につける 苦手分野を把握し、今後の対策を講じることができる		
2	<b>【授業単元】</b> 自己分析② <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> セールスポイント→エピソード→活用法について、わかりやすい文章で伝えることができる			10	<b>【授業単元】</b> SPI・一般常識対策 <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> 出題の傾向を知り、解法のパターンを身につける 苦手分野を把握し、今後の対策を講じることができる		
3	<b>【授業単元】</b> 志望動機① <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> やりたい仕事→興味を持った理由→将来の抱負を明確にすることができる			11	<b>【授業単元】</b> SPI・一般常識対策 <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> 出題の傾向を知り、解法のパターンを身につける 苦手分野を把握し、今後の対策を講じることができる		
4	<b>【授業単元】</b> 志望動機② <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> やりたい仕事→興味を持った理由→将来の抱負を説得力のある言葉で伝えることができる			12	<b>【授業単元】</b> SPI・一般常識対策 <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> 出題の傾向を知り、解法のパターンを身につける 苦手分野を把握し、今後の対策を講じることができる		
5	<b>【授業単元】</b> 学生時代に力を注いだ事 <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> 力を注いできたことから何を学んだのか、それを仕事にどう活かしていくかを自己PRとダブらないようエピソードの種類を変えてアピールできる			13	<b>【授業単元】</b> 時事問題・小論文 <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> 時事問題の情報収集法を勉強法を知る 評価される小論文の書き方のコツについて説明できる 時事問題をテーマに小論文が書ける		
6	<b>【授業単元】</b> 身だしなみと立ち居振舞い <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> 実習に行く際の態度、身だしなみ、立ち居振舞いを習得し、マナーの向上ができる			14	<b>【授業単元】</b> 時事問題・小論文 <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> 時事問題をテーマに小論文が書ける		
7	<b>【授業単元】</b> ロールプレイング <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> 実習初日を想定した動作(名乗って→担当者への取り次ぎ依頼をし→あいさつをする)が感じよくスムーズにできる			15	<b>【授業単元】</b> 定期試験、解答解説 <b>【授業形態】</b> <b>【到達目標】</b>		
8	<b>【授業単元】</b> 中間試験 解答解説 <b>【授業形態】</b> <b>【到達目標】</b>			<b>【評価方法について】</b> 評価は、小テスト(40点)と中間試験(30点)・定期試験(30点)の合計100点満点で行う 評価は学則規定に準ずる。			
<b>【特記事項】</b>							



科目名 (英)	疾病学 (Disease Studies)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	サラメ 美保子
学科・コース	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 金曜日 2限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対する教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のために貢献してきた教員が、病気に合った診療科目を選択することができるよう、体の区分を理解し、極めて頻度の高い病気の主な原因、症状及び診療などについて講義形式で授業していく。まずは身近な病気を学び、普段使用しない医療用語(英語含む)に少しずつ慣れることを期待する。第9回～14回は、人の体と機能で学んだ各臓器や器官の主な病気の原因、症状を理解し、診療・検査・治療に関連づけることができるよう授業していく。							
【到達目標】 ≪第1回～8回≫ 医療従事者として必要な病気に関する基礎的医療用語を理解でき、適切な診療科目と結び付けることができる。 ≪第9回～14回≫ 各臓器における代表的な病気の症状、原因、検査と治療を理解し、ドクターカルテ及びナースカルテの内容を理解できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 各授業毎に重要事項を記入するプリントを配布				【授業外における学習】 各授業で配布したプリント及び小テストの復習 授業中紹介する映像サイトなどで視聴覚的に復習する			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 病気とは…体の区分と診療科目について 【授業形態】 講義 【到達目標】 診療科目の区分を理解する			9	【授業単元】 脳と頭頸部の病気 ①脳と血管 【授業形態】 講義 【到達目標】 脳の保護機能(膜と髄液)と結び付け、脳血管疾患の種類とその症状、原因、治療について理解する		
2	【授業単元】 貧血、高血圧、虚血性心疾患について 【授業形態】 講義 【到達目標】 貧血の種類とそれぞれの特徴、高血圧の基準値、虚血性心疾患の発生機序を理解する			10	【授業単元】 脳と頭頸部の病気 ②脳と脊髄(神経) 【授業形態】 講義 【到達目標】 神経系疾患の種類とその症状、原因、治療について理解する		
3	【授業単元】 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、糖尿病について 【授業形態】 講義 【到達目標】 胃潰瘍と十二指腸潰瘍の症状の特徴、糖尿病の種類と症状を理解する			11	【授業単元】 脳と頭頸部の病気 ③脳と内分泌機能 【授業形態】 講義 【到達目標】 内分泌機能とその異常症を結び付け、原因、症状、治療を理解する		
4	【授業単元】 気管支喘息、肺炎、慢性閉塞性肺疾患について 【授業形態】 講義 【到達目標】 気管支喘息と肺炎の症状、慢性閉塞性肺疾患の概要を理解する			12	【授業単元】 心臓と血管の病気 ①心臓と血管 【授業形態】 講義 【到達目標】 心臓の栄養血管の走行と虚血性心疾患の症状、原因、治療を結び付け理解できる		
5	【授業単元】 膀胱炎、ネフローゼ症候群、腎不全について 【授業形態】 講義 【到達目標】 膀胱炎の症状、ネフローゼ症候群と腎不全の概要を理解する			13	【授業単元】 心臓と血管の病気 ②血液と循環 【授業形態】 講義 【到達目標】  全身の血液循環と心不全の症状、原因、治療を結び付け理解できる		
6	【授業単元】 脳卒中、認知症について 【授業形態】 講義 【到達目標】 脳卒中と認知症の概要を理解する			14	【授業単元】 呼吸器系の病気 【授業形態】 講義 【到達目標】 肺の解剖生理と呼吸器系の病気の発生機序を結び付け、症状、原因、治療が理解できる		
7	【授業単元】 中耳炎・副鼻腔炎、近視・遠視、皮膚炎について 【授業形態】 講義 【到達目標】 感覚器系(口・耳・鼻・眼・皮膚)の高頻度発生の病気について理解する			15	【授業単元】 定期試験(60点満点)、解答解説 【授業形態】 筆記試験		
8	【授業単元】 1～7の復習:医療秘書技能検定試験対策 【授業形態】 テスト演習			【評価について】 評価は小テストと定期試験で行う。・小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。・小テストは教室での受講者はペーパーテスト、オンライン受講者はteams上で行う。定期試験は全員筆記試験を行う。・小テストは、第1回～7回、9回～14回の授業の各回最後に行う。・評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリントに必ず重要事項を記入すること。							

科目名 (英)	疾病学 (Disease Studies)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	サラム 美保子
学科・コース	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後 期 金曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対する教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のために貢献してきた教員が、人体構造機能論で学んだ基本的解剖生理の知識を基に、各臓器や器官の主な病気の原因、症状を理解し、診療・検査・治療に関連づけることができるよう授業していく。							
【到達目標】 各臓器における代表的な病気の症状、原因、検査と治療を理解し、ドクターカルテ及びナースカルテの内容を理解できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 各授業毎に重要事項を記入するプリントを配布				【授業外における学習】 各授業で配布したプリント及び小テストの復習 授業中紹介する映像サイトなどで視聴覚的に復習する			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 消化管系の病気 ①食道・胃 ②小腸・大腸・肛門 【授業形態】 講 義 【到達目標】 胃の解剖生理と、胃潰瘍・胃癌の症状、原因、治療を結び付け理解できる。下部消化管の解剖生理と、腸閉塞・十二指腸潰瘍・大腸癌などの症状、原因、治療を結び付け理解できる。						
2	【授業単元】 消化器系の病気 ③肝臓・膵臓・胆嚢 + 脾臓 【授業形態】 講 義 【到達目標】 膵機能と糖尿病の原因、及び肝機能と肝炎・肝硬変を結び付け、それらの症状、治療について理解できる。						
3	【授業単元】 泌尿器系及び生殖器系の病気 【授業形態】 講 義 【到達目標】 腎臓の機能と腎不全の症状、治療を結び付け理解できる。						
4	【授業単元】 感覚器系(口・耳・鼻・眼・皮膚)の病気 【授業形態】 講 義 【到達目標】 感覚器系の解剖生理と病気の症状、原因を結び付け、それらの治療について理解できる。						
5	【授業単元】 骨と血液の病気 【授業形態】 講 義 【到達目標】 椎間板ヘルニアや骨粗鬆症の症状、原因を骨の構造と結び付け理解できる。 貧血の種類とそれぞれの症状を理解する。						
6	【授業単元】 感染症・AIDSについて 【授業形態】 講 義 【到達目標】 感染症の感染経路について理解する。 予防接種の有効性について理解する。						
7	【授業単元】 不整脈+先天性心疾患 【授業形態】 講 義 【到達目標】 不整脈の中でも致死性不整脈について、その危険性を理解する。						
8	【授業単元】 定期試験(60点満点)・解答解説 【授業形態】 筆記試験				【評価について】 評価は小テストと定期試験で行う。・小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。・小テストは教室での受講者はペーパーテスト、オンライン受講者はteams上で行う。 定期試験は全員筆記試験を行う。・小テストは、第1回～6回の授業の各回最後に行う。・評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】 授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリントに必ず重要事項を記入すること。							

科目名 (英)	検査学 (Inspection)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	三宮 柁名
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 火曜日 2時限
学科・専攻	医療事務総合学科						
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 大学病院の看護師として臨床経験を積んだ後、公衆衛生や医療政策に関する研究を大学で行っている。 本授業の目的は、医療事務技能検定2級合格に必要な知識・用語を習得し、医療事務として働く際に欠かせない知識や考え方を習得することである。 検査に関連する様々な知識を授業で扱うため、授業の内容を沢山メモしながら、理解に努めてほしい。							
【到達目標】 医療機関の事務職員として勤務するにあたり、検査に関する必要な知識や用語の意味を理解できる。 医療秘書検定2級医療知識分野において、合格点以上の点を獲得することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 医療秘書医学シリーズ8 改訂「医学用語」「検査学」建帛社				【授業外における学習】 中間試験及び定期試験で合格点をとるには、日々の予習復習および定期試験前の学習が欠かせない。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】オリエンテーション・1章「検査の基礎知識」 【授業形態】講義 【到達目標】 検査を行う理由について説明できる。 偽陰性と偽陽性の違いを説明できる。						
2	【授業単元】2章「一般検査」 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 尿検査の注意点を、患者にわかる言葉で説明できる。 髄液検査の際に起こりうるリスクを説明できる。						
3	【授業単元】3・4章「血液検査①」 【授業形態】講義 【到達目標】 血液データの項目の意味を説明できる。 血液検査を行う際の注意点やリスクを説明できる。						
4	【授業単元】5・6章「血液検査②」 【授業形態】講義 【到達目標】 免疫グロブリンの特徴を、説明できる。 輸血検査の目的と実施タイミングについて説明できる。						
5	【授業単元】中間試験・7-9章「様々な生体検査」 【授業形態】講義 【到達目標】 遺伝子検査に関する倫理的問題を説明できる。 抗体と抗原の違いを説明できる。 病理検査を行う目的を説明できる。						
6	【授業単元】10章「生理機能検査・放射線検査」 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 各生理検査の目的を、説明できる。 CTとMRIの違いを踏まえたうえで、実施前後の注意点を説明できる。						
7	【授業単元】追加講義「各診療科や看護で扱う検査」 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 バイタルサインからわかることを説明できる。 フィジカルイグザミネーションを通じてわかることを、説明できる。 各診療科特有の検査の意味がわかる。						
8	【授業単元】定期試験及び解説 【授業形態】講義 【到達目標】 定期試験で8割以上得点することができる。				【評価方法について】 評価は筆記試験で行う。第4回授業で実施する中間試験40点、定期試験60点計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	薬理学 (Pharmacology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	三宮 証名
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 火曜日 2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 大学病院の看護師として臨床経験を積んだ後、公衆衛生や医療政策に関する研究を大学で行っている。また、製薬企業のコンサルタント業務にも従事する。 本授業の目的は、医療事務技能検定2級合格に必要な知識・用語を習得し、医療事務として働く際に欠かせない知識や考え方を習得することである。 薬剤に関連する様々な知識を授業で扱うため、授業の内容を沢山メモしながら、理解に努めてほしい。							
【到達目標】 医師事務作業補助者実務能力認定試験、医療秘書技能検定試験2級などの資格試験に合格できる、薬理学の知識を身に着ける。また、現場でよく使用する薬の名称を覚える。							
【使用教科書・教材・参考書】 検査・薬理学				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 薬理学の基礎、末梢神経作用薬 【授業形態】 講義 【到達目標】 医師事務作業補助者実務能力認定試験、医療秘書技能検定試験2級などの資格試験に合格できる、薬理学の知識を身に着ける。また、現場でよく使用する薬の名称を覚える。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
2	【授業単元】 中枢神経作用薬、消化器系薬 【授業形態】 講義 【到達目標】 医師事務作業補助者実務能力認定試験、医療秘書技能検定試験2級などの資格試験に合格できる、薬理学の知識を身に着ける。また、現場でよく使用する薬の名称を覚える。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
3	【授業単元】 循環器系、代謝系に用いる薬 【授業形態】 講義 【到達目標】 医師事務作業補助者実務能力認定試験、医療秘書技能検定試験2級などの資格試験に合格できる、薬理学の知識を身に着ける。また、現場でよく使用する薬の名称を覚える。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
4	【授業単元】 アレルギー、抗炎症薬 【授業形態】 講義 【到達目標】 医師事務作業補助者実務能力認定試験、医療秘書技能検定試験2級などの資格試験に合格できる、薬理学の知識を身に着ける。また、現場でよく使用する薬の名称を覚える。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
5	【授業単元】 中間試験・ホルモン・ビタミン薬 【授業形態】 講義 【到達目標】 医師事務作業補助者実務能力認定試験、医療秘書技能検定試験2級などの資格試験に合格できる、薬理学の知識を身に着ける。また、現場でよく使用する薬の名称を覚える。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
6	【授業単元】 貧血・血液製剤 【授業形態】 講義 【到達目標】 医師事務作業補助者実務能力認定試験、医療秘書技能検定試験2級などの資格試験に合格できる、薬理学の知識を身に着ける。また、現場でよく使用する薬の名称を覚える。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
7	【授業単元】 感染症・抗悪性腫瘍薬 【授業形態】 講義 【到達目標】 医師事務作業補助者実務能力認定試験、医療秘書技能検定試験2級などの資格試験に合格できる、薬理学の知識を身に着ける。また、現場でよく使用する薬の名称を覚える。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 医師事務作業補助者実務能力認定試験、医療秘書技能検定試験2級などの資格試験に合格できるよう、薬の名前と作用をマッチングさせる能力を問う試験を行う。			【評価方法について】 評価は筆記試験で行う。第4回授業で実施する中間試験40点、定期試験60点計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	人の体と機能 (Theory of Body Constitution and Functions)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	サラム 美保子
学科・コース	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日 2限・金曜日 1限
<b>【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】</b> 看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対する教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のために貢献してきた教員が、医療のスペシャリストとして必要な人体構造(解剖と生理学)の知識を習得できるよう授業していく。 前期1～8回は総論を学び、6月の医療秘書技能検定に向けて全身を広く深く学習していく。 前期9～14回は体の機能別に全身をさらに深く学習していく。各臓器や各器官の役割や機能を理解し、疾病学で学ぶ内容と結び付けられることを期待する。 単独で機能する身体のパーツはなく、全身と関連づけながら繰り返し出てくる内容も多いので安心して授業に臨んでほしい。							
<b>【到達目標】</b> <<前期1～8回>> 医学的基礎知識を得ることにより、医療従事者として必要な基礎的医療用語(人体構造・臓器の名称や役割・機能など)を理解することができる。 <<前期9～14回>> 体の解剖生理学的知識を得ることにより、各臓器の主な病気の発症と結び付けることができ、医療秘書・医療事務として院内各診療科の医療用語などを理解することができる。							
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> ぜんぶわかる人体解剖図 坂井武雄 他著 成美堂出版 ※各授業毎に重要事項を記入するプリントを配布				<b>【授業外における学習】</b> 各授業で配布したプリント及び小テストの復習 授業中紹介する映像サイトなどで視覚的に復習する			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	<b>【授業単元】</b> 全身の構造・骨格・内臓の位置 <b>【授業形態】</b> 講 義 <b>【到達目標】</b> 全身の骨格・筋肉・臓器の位置を知り、体の構造の概要を理解する			9	<b>【授業単元】</b> 脳と頭頸部の構造・機能 ①脳と血管 <b>【授業形態】</b> 講 義 <b>【到達目標】</b> 脳の構造としくみ、及び脳血管の重要性を理解する		
2	<b>【授業単元】</b> 心臓の解剖生理とその機能、血管と血液成分 <b>【授業形態】</b> 講 義 <b>【到達目標】</b> 循環器概要として、心臓の解剖と機能、血管の種類とその機能、及び血液成分とその主なはたらきを理解する			10	<b>【授業単元】</b> 脳と頭頸部の構造・機能 ②脳と脊髄(神経) <b>【授業形態】</b> 講 義 <b>【到達目標】</b> 神経系の分類とその役割を理解する		
3	<b>【授業単元】</b> 消化器系各臓器の解剖生理及び役割・機能 <b>【授業形態】</b> 講 義 <b>【到達目標】</b> 消化器概要として、消化管の構成とその役割・機能を理解する			11	<b>【授業単元】</b> 脳と頭頸部の構造・機能 ③脳と内分泌機能 <b>【授業形態】</b> 講 義 <b>【到達目標】</b> 内分泌腺と各ホルモンを理解する		
4	<b>【授業単元】</b> 呼吸器の解剖生理、ガス(酸素と二酸化炭素)交換 <b>【授業形態】</b> 講 義 <b>【到達目標】</b> 呼吸器概要として、呼吸経路の解剖生理とガス(酸素と二酸化炭素)交換を理解する			12	<b>【授業単元】</b> 心臓と血管の構造と機能 ①心臓と血管 <b>【授業形態】</b> 講 義 <b>【到達目標】</b> 心臓の構造と拍動のしくみ、及び心臓の栄養血管を理解する		
5	<b>【授業単元】</b> 腎臓を含む泌尿器・生殖器系の解剖生理と役割・機能 <b>【授業形態】</b> 講 義 <b>【到達目標】</b> 泌尿器・生殖器系の概要として、それらの解剖生理と役割・機能を理解する			13	<b>【授業単元】</b> 心臓と血管の構造と機能 ②血液と循環 <b>【授業形態】</b> 講 義 <b>【到達目標】</b> 全身の血液循環路、及び血圧とその基準値を理解する		
6	<b>【授業単元】</b> 頭部の構造。脳と脊髄・神経、内分泌とホルモン <b>【授業形態】</b> 講 義 <b>【到達目標】</b> 頭部・脳の解剖生理と役割・機能を理解し、第1-5回講義内容である体の各機能と脳との関係を結び付けることができる			14	<b>【授業単元】</b> 呼吸器系の構造と機能 <b>【授業形態】</b> 講 義 <b>【到達目標】</b> 気道と肺の構造・機能、及び呼吸のしくみを理解する		
7	<b>【授業単元】</b> 感覚器系の解剖生理と役割・機能 <b>【授業形態】</b> 講 義 <b>【到達目標】</b> 感覚器系(口・耳・鼻・眼・皮膚)の概要として、それぞれの役割・機能を理解する			15	<b>【授業単元】</b> 定期試験 (60点満点)、解答解説 <b>【授業形態】</b> 筆記試験		
8	<b>【授業単元】</b> 1～7の復習:医療秘書技能検定試験対策 <b>【授業形態】</b> テスト演習			<b>【評価について】</b> 評価は小テストと定期試験で行う。・小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。・小テストは教室での受講者はペーパーテスト、オンライン受講者はteams上で行う。定期試験は全員筆記試験を行う。・小テストは、第1回～7回、9回～14回の授業の各回最後に行う。・評価は学則規定に準ずる。			
<b>【特記事項】</b> 授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリントに必ず重要事項を記入すること。							

科目名 (英)	人の体と機能 (Theory of Body Constitution and Functions)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	サラメ 美保子
学科・コース	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 金曜日 2時限
<p>【授業の学習内容と心構え】</p> <p>看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対する教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のために貢献してきた教員が、医療のスペシャリストとして必要な人体構造(解剖と生理学)の知識を習得できるよう授業していく。前期9回～14回に続いて、体の機能別に全身をさらに深く学習していく。各臓器や各器官の役割や機能を理解し、疾病学で学ぶ内容と結び付けられることを期待する。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>体の解剖生理学的知識を得ることにより、各臓器の主な病気の発症と結び付けることができ、医療秘書・医療事務として院内各診療科の医療用語を理解することができる。</p>							
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>ぜんぶわかる人体解剖図 坂井武雄 他著 成美堂出版 ※各授業毎に重要事項を記入するプリントを配布</p>				<p>【授業外における学習】</p> <p>各授業で配布したプリント及び小テストの復習 授業中紹介する映像サイトなどで視聴覚的に復習する</p>			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	<p>【授業単元】 消化管の構造と機能 ①口腔・食道・胃 ②小腸・大腸・肛門</p> <p>【授業形態】 講 義</p> <p>【到達目標】 上下部消化管としてのそれぞれの役割・機能を理解する</p>						
2	<p>【授業単元】 消化器系の構造と機能 ③肝臓・膵臓・胆嚢 + 脾臓</p> <p>【授業形態】 講 義</p> <p>【到達目標】 肝臓・膵臓・胆嚢・脾臓の腹腔内の位置関係を正確に把握し、それぞれの役割・機能を理解する</p>						
3	<p>【授業単元】 泌尿器系及び生殖器系の構造と機能</p> <p>【授業形態】 講 義</p> <p>【到達目標】 腎臓及び生殖器の解剖生理を把握し、その機能を理解する</p>						
4	<p>【授業単元】 感覚器系(口・耳・鼻・眼・皮膚)の構造と機能</p> <p>【授業形態】 講 義</p> <p>【到達目標】 各感覚器系の構造とその役割・機能について理解できる</p>						
5	<p>【授業単元】 骨の構造と造血機能 及び 血液成分とその役割</p> <p>【授業形態】 講 義</p> <p>【到達目標】 骨と血液との関係を把握し、血液成分とその役割、及び主な血液検査項目とその基準値を把握する。</p>						
6	<p>【授業単元】 免疫とリンパ系 及び 胎児期について</p> <p>【授業形態】 講 義</p> <p>【到達目標】 免疫機構、リンパ系組織の構造とその役割・機能について理解できる。胎児期の呼吸循環の特徴を理解する。</p>						
7	<p>【授業単元】 コレステロールと脂質異常症・ビタミンと欠乏症</p> <p>【授業形態】 問題と解答説明</p> <p>【到達目標】 普段の食生活が疾病につながる、または疾病の予防になることを理解する。</p>						
8	<p>【授業単元】 定期試験 (60点満点)、解答解説</p> <p>【授業形態】 筆記試験</p>			<p>【評価方法について】</p> <p>評価は小テストと定期試験で行う。 ・小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 ・小テストは教室での受講者はペーパーテスト、オンライン受講者はteams上で行う。定期試験は全員筆記試験を行う。 ・小テストは、第1回～6回の授業の各回最後に行う。・評価は学則規定に準ずる。</p>			
<p>【特記事項】</p> <p>授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリントに必ず重要事項を記入すること。</p>							

科目名 (英)	病院マナー (Hospital Manners)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	國友 幸恵
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	火曜日 1時限
<b>【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】</b> 16年間、洋菓子メーカーにて勤務。多種形態店舗の店長を経験後、本社営業研修課での社員教育、教育ツール作成等に携わる。ダブルケア(育児と介護)での離職経験、大学の社会復帰講座受講を経て、研修講師として活動を開始。老人福祉施設や児童福祉施設でのボランティア活動も行う。レジリエンス、アンガーマネジメント、褒め言葉に関する資格を有し、授業においても多方面からアプローチする術を持つ。さらに人材とは“人財”であるからこそ、自分と他者を認め、誰かの役に立てる幸せを自覚出来る授業を実施する。							
<b>【到達目標】</b> 医療従事者として必要な「患者様の立場に立った接遇」と「社会人として人間関係を円滑にするスキルを実践形式で身につける事が出来る。 ①マスクをしていても好感を持たれる表情・立ち振る舞い ②コミュニケーションスキル・聞く・話す・書くなど ③医療現場で必要な意識の理解 ④電話の受け方・かけ方 これらについて、現場ですぐに実践できるようになる。							
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> ・配付資料 ・ワークシート				<b>【授業外における学習】</b> ・挨拶や表情など、普段の生活で意識していることを行う			
回				回			
授業概要				授業概要			
1	<b>【授業単元】</b> オリエンテーション <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> ・クラスの雰囲気に慣れる ・クラスメイトを知る ・好感の持てる挨拶の仕方が出来る	<b>【授業単元】</b> <b>【授業形態】</b> <b>【到達目標】</b>					
2	<b>【授業単元】</b> グループでの課題解決 <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> ・相手の話を正しく聴いて想像することが出来る ・相手に正しく話が伝わっているかを感じる事が出来る ・グループで協力して課題を達成出来る	<b>【授業単元】</b> <b>【授業形態】</b> <b>【到達目標】</b>					
3	<b>【授業単元】</b> 印象力アップ <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> ・視線と印象の変化を実感する ・目尻と口角を動かす事が出来る ・アイコンタクトを3秒以上取れる	<b>【授業単元】</b> <b>【授業形態】</b> <b>【到達目標】</b>					
4	<b>【授業単元】</b> コミュニケーション力アップ 1 <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> ・自身のメンタルを整える方法を知る ・シャンパンタワーの法則について実感する ・自発的行動(挨拶・質問・共感)が出来る	<b>【授業単元】</b> <b>【授業形態】</b> <b>【到達目標】</b>					
5	<b>【授業単元】</b> コミュニケーション力アップ 2 <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> ・温かい言葉の使い方を知る ・言葉掛けの3つのポイントを実施出来る ・実際に言葉を相手に掛ける・掛けてもらう行いが出来る	<b>【授業単元】</b> <b>【授業形態】</b> <b>【到達目標】</b>					
6	<b>【授業単元】</b> 電話応対 <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> ・電話の特性・使い方の基本を知る ・適切な声の発し方(大きさ・高さ・スピード)が実施出来る ・必要な敬語表現が実施出来る	<b>【授業単元】</b> <b>【授業形態】</b> <b>【到達目標】</b>					
7	<b>【授業単元】</b> 事務応対 <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> ・受付業務の基本的な動作が出来る ・受付業務の基本的な声かけが出来る ・患者様への目配り・気配りを実践するためにどうすれば良いかを考えられる	<b>【授業単元】</b> <b>【授業形態】</b> <b>【到達目標】</b>					
8	<b>【授業単元】</b> 定期試験 <b>【授業形態】</b> 講義・演習 <b>【到達目標】</b> ・定期試験実施 ・解答&解説	<b>【評価方法について】</b> 評価は筆記試験で行う 授業内で勉強した知識を使い、即現場で使えるように出題する。 小テストの合計(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。					
<b>【特記事項】</b>							

科目名 (英)	医療秘書実務 ( Medical Secretary Business )	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	今井 由恵
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分	前期 金曜日 1時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 現在も医事課職員で勤務している教員が、患者様はどんなことが不安なのか、勤務するためにはどのような知識や気遣いが必要なのか、コロナ過の中、コミュニケーションをとることが難しい今日、患者様の不安に寄り添えるよう、現場の話を盛り込みつつ、テキストを利用し医療機関の仕組みや業務内容、チーム医療を担う一人として、「医療機関のサービス」の特異性を考え、患者様へ適切なサービスを行えることを目指す。6月の検定試験チャレンジまで短い時間の中で出題されやすい問題が解けるように検定問題の文章に慣れていくこと。8回の授業で検定試験にチャレンジするため、休まないように健康に注意すること。健康であることも医療従事者として大切な要素となる。							
【到達目標】 医療秘書技能検定試験3級合格とその後の上級級合格を過去問題を利用し目指す。							
【使用教科書・教材・参考書】 新医療秘書実務シリーズ 1 三訂 医療秘書				【授業外における学習】 予習としてはテキストの漢字を読めるようにしましょう。予習よりは復習、テキストを何回も読みましょう。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 オリエンテーション・日本の医療 【授業形態】 講義 【到達目標】 授業の進め方、テキストの使用方法を確認しながら、「医療秘書って何?」「医療従事者って何?」を考えてみましょう。医療関連法規やその他の授業とどう関連していくのか考えてみましょう。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 医療界の現状と今後の展望・医療とICT 【授業形態】 講義 【到達目標】 医療界の現状、医療機関の組織のしくみをテキストに沿って学びましょう。今後の展望を考えてみましょう。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 医療秘書の現状と将来 【授業形態】 講義 【到達目標】 欧米諸国の医療秘書の様子と日本の医療秘書の様子を比較してみましょう。これからの「医療秘書」の専門性の確立について考えてみましょう。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 医療秘書の役割と業務 【授業形態】 講義 【到達目標】 「医療秘書」といっても様々な業務があります。その役割と業務をテキストの事例をもとに、考えてみましょう。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 医療秘書の実務とケーススタディ 【授業形態】 講義 【到達目標】 医療秘書の職務に就くために必要な知識、マナーをテキストを元に学び、検定や実習などに備えましょう。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】 1～5回目が試験範囲				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 定期試験解説・過去問題にチャレンジし、検定合格に向けて自分の苦手箇所を把握する。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 ロールプレイング 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 テキストを元に、ロールプレイングを行う。				【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業内で確認した専門的知識・技術の理解、定着度を確認する。筆記試験は定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	医療概論・医療用語 (Medical Care Theory)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	三宮 柁名
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日 2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 大学病院の看護師として臨床経験を積んだ後、公衆衛生や医療政策に関する研究を大学で行っている。 本授業の目的は、医療事務技能検定3級合格に必要な知識・用語を習得し、医療事務として働く際に欠かせない知識や考え方を習得することである。 医療制度から病気の話まで、様々な知識を授業で扱うため、授業の内容を沢山メモしながら、理解に努めてほしい。							
【到達目標】 医療機関の事務職員として勤務するにあたり、必要な知識や用語の意味を理解できる。 医療秘書検定3級医療知識分野において、合格点以上の点を獲得することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 医療秘書医学シリーズ8 改訂「医学用語」「医療概論」建帛社				【授業外における学習】 中間試験及び定期試験で合格点をとるには、日々の予習復習および定期試験前の学習が欠かせない。			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 医療概論 1章「医学と医療」2章「医療と実際」 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語を説明できる 医療事務の役割、インフォームドコンセント			9	【授業単元】 医療単語②【診療科別単語】 【授業形態】 講義 【到達目標】 循環器・消化器分野で頻出の用語について、その意味がわかる		
2	【授業単元】 2章「医療と実際」・3章「死と医療」 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語を説明できる DPC制度、QOL、安楽死			10	【授業単元】 医療単語③【診療科別単語】 【授業形態】 講義 【到達目標】 呼吸器・泌尿器・血液内科分野で頻出の用語について、その意味がわかる		
3	【授業単元】 医療単語①【診療科共通の用語】 【授業形態】 講義 【到達目標】 病棟・外来問わず使用する、英略語および医療用語の意味がわかり、正しく読むことができる			11	【授業単元】 医療単語④【診療科別単語】 【授業形態】 講義 【到達目標】 産婦人科・整形外科・アレルギー科・皮膚科分野で頻出の用語について、その意味がわかる		
4	【授業単元】 4章「医療・医療従事者に関する法律」 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語を説明できる 病院、診療所、医療従事者の免許、管理者、経営者			12	【授業単元】 医療単語⑤【診療科別単語】 【授業形態】 講義 【到達目標】 病院の薬・検査に関する分野で頻出の用語について、その意味がわかる		
5	【授業単元】 5章「社会保障制度」 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語を説明できる 国民皆保険制度、健康保険、レセプト			13	【授業単元】 医療概論【総復習】 【授業形態】 講義 【到達目標】 医療概論分野で扱った知識が、どう実習で役立つかを理解することができる		
6	【授業単元】 6章「自由診療と混合診療」・7章「現代医療の課題」 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語を説明できる 自由診療、混合診療、介護保険、後期高齢者医療制度			14	【授業単元】 医療単語【総復習】 【授業形態】 講義 【到達目標】 医療用語分野で扱った知識が、どう実習で役立つかを理解することができる		
7	【授業単元】 中間試験および解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 ここまでの授業で扱った重要用語の意味を、選択肢の中から選ぶことができる 授業で扱った医療用語を、正しく読むことができる			15	【授業単元】 定期試験および解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 ここまでの授業で扱った重要用語の意味を、選択肢の中から選ぶことができる 授業で扱った医療用語を、正しく読み書きすることができる		
8	【授業単元】 医療秘書技能検定解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 試験を解きなおし、学習に関する自分の課題を明らかにし、対策を立てることができる			【評価方法について】 評価は筆記試験で行う。講義の中で行う中間試験40点、定期試験60点計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 授業回数や授業内容が変更する可能性がある。							

科目名 (英)	医療法規 (Medical Relation Regulation)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	岡嶋 由紀
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	水曜日 1・2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、医療に関連する諸制度の知識を習得するための授業を行う。前半は配布プリントを使用して、医療保険制度、療養担当規則、公費負担医療制度等の基礎的な知識について学習する。後半からテキストを使用し、医療法、医療従事者法、健康・予防に関する法律と、医療関連法規の体系を広く理解していくことを目指す。さまざまな法律の学習を通して、業務との関連を意識し、より主体的、能動的に業務に取り組むことができるようになることを期待する。							
【到達目標】 保険診療のしくみを通して、業務の全体像が理解できる。 医療保険制度、療養担当規則、公費負担医療、医療法、医療従事者法等の概要が理解できる。 各法律と業務との関連づけができる。 医療秘書技能検定試験3級に合格する。(領域Ⅰの合格基準を超える。)							
【使用教科書・教材・参考書】 『医事関連法の完全知識』(医学通信社) ※配布プリントを使用 『医療秘書技能検定試験実問題集3級①』(つちや書店)				【授業外における学習】 各回の配布プリント及び小テストの復習をすること 教科書の該当範囲を読んで理解を深めること			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 保険診療のしくみ 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・医療保険制度の目的を説明できる ・保険診療のしくみの図を記述できる ・被保険者と保険者の違いを説明できる			9	【授業単元】 診療報酬に関する法規 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・診療報酬の請求方法が理解できる ・審査制度の概要が理解できる ・実費徴収できる費用とできない費用の区別ができる		
2	【授業単元】 医療保険制度の種類と法別番号 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・医療保険と健康保険の違いを説明できる ・保険の種類と法別番号を関連づけることができる ・協会けんぽと組合健保の違いを説明できる			10	【授業単元】 問題演習と解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験3級(領域Ⅰ)医療法規の問題を解いて、合格基準を超える解答ができる		
3	【授業単元】 保険料、被保険者の種類、二重指定制度 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・保険料の決定方法が理解できる ・被保険者の種類を区別できる ・指定と登録の違いを説明できる			11	【授業単元】 療養担当規則 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・療養担当規則の目的を説明できる ・保険医療機関の療養担当が理解できる ・保険医の診療方針等が理解できる		
4	【授業単元】 患者負担、保険給付 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・年齢と患者負担割合を関連づけることができる ・窓口徴収額が計算できる			12	【授業単元】 問題演習と解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級(領域Ⅰ)医療法規の問題を解いて、出題の傾向を掴む		
5	【授業単元】 保険給付(医療給付・現金給付) 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・現金給付の種類と概要を関連づけることができる ・現金給付と現物給付の違いを説明できる			13	【授業単元】 混合診療の禁止と保険外併用療養費 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・混合診療の禁止とは何か説明できる ・保険外併用療養費と特別の料金の関係を説明できる ・選定療養と評価療養を識別できる		
6	【授業単元】 その他の被用者保険 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・船員保険法の概要が理解できる ・国民健康保険法の概要が理解できる			14	【授業単元】 問題演習と解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験3級(領域Ⅰ)の問題を解いて、合格基準を超える解答ができる		
7	【授業単元】 後期高齢者医療制度 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・後期高齢者医療確保法の概要が理解できる			15	【授業単元】 総復習 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・第1回から第14回までの問題に暗記で解答できる		
8	【授業単元】 問題演習と解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験3級(領域Ⅰ)医療法規の問題を解いて、合格基準を超える解答ができる			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。 授業で習得した専門的な知識の理解度、定着度を確認する。 筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 配布プリントは、2年次も継続して使用するものとして、ファイリング等資料整理をすること							

科目名 (英)	医療法規 (Medical Relation Regulation)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	岡嶋 由紀	
	学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 1・2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、医療に関連する諸制度の知識を習得するための授業を行う。前半は配布プリントを使用して、医療保険制度、療養担当規則、公費負担医療制度等の基礎的な知識について学習する。後半からテキストを使用し、医療法、医療従事者法、健康・予防に関する法律と、医療関連法規の体系を広く理解していくことを目指す。さまざまな法律の学習を通して、業務との関連を意識し、より主体的、能動的に業務に取り組むことができるようになることを期待する。								
【到達目標】 保険診療のしくみを通して、業務の全体像が理解できる。 医療保険制度、療養担当規則、公費負担医療、医療法、医療従事者法等の概要が理解できる。 各法律と業務との関連づけができる。 医療秘書技能検定試験3級に合格する。(領域Ⅰの合格基準を超える。)								
【使用教科書・教材・参考書】 『医事関連法の完全知識』(医学通信社) ※配布プリントを使用 『医療秘書技能検定試験実問題集3級①』(つちや書店)				【授業外における学習】 各回の配布プリント及び小テストの復習をすること 教科書の該当範囲を読んで理解を深めること				
回	授業概要			回	授業概要			
16	【授業単元】高額療養費 【授業形態】講義 【到達目標】 ・高額療養費の対象と対象外の費用を識別できる ・自己負担限度額表の確認及び計算ができる ・限度額適用認定証とマル長の目的を説明できる			24	【授業単元】医療法③ 【授業形態】講義 【到達目標】 ・病院の人員配置が理解できる ・病床機能報告制度が理解できる ・地域医療構想と医療計画が理解できる			
17	【授業単元】問題演習と解説 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験3級(領域Ⅰ)の問題を解いて、合格基準を超える解答ができる			25	【授業単元】医療従事者法① 【授業形態】講義 【到達目標】 ・医師法の概要が理解できる ・薬剤師法の概要が理解できる ・保健師助産師看護師法の概要が理解できる			
18	【授業単元】公費負担医療 【授業形態】講義 【到達目標】 ・主な公費負担医療の種類と概要が理解できる ・費用負担の違いと主なパターンが理解できる ・生活保護法の概要が理解できる			26	【授業単元】医療従事者法② 【授業形態】講義 【到達目標】 ・診療放射線技師法の概要が理解できる ・理学療法士及び作業療法士法の概要が理解できる ・その他医療従事者に関する法律の概要が理解できる			
19	【授業単元】公費負担医療 【授業形態】講義 【到達目標】 ・感染症法の概要が理解できる ・障害者自立支援法の概要が理解できる ・難病法の概要が理解できる			27	【授業単元】問題演習と解説 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 ・診療報酬認定試験の医療関連法規に関する問題の出題傾向を掴む			
20	【授業単元】労災保険、自賠責保険 【授業形態】講義 【到達目標】 ・労災保険、自賠責保険の概要が理解できる ・医療保険各法との関係が理解できる			28	【授業単元】定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】			
21	【授業単元】法を学ぶための基礎知識、社会保障制度 【授業形態】講義 【到達目標】 ・法の種類、法の構造が理解できる ・法令用語、基本用語が理解できる ・社会保障制度の体系が理解できる			29	【授業単元】予防衛生・保健衛生に関する法規 【授業形態】講義 【到達目標】 ・感染症予防法の概要が理解できる ・予防接種法の概要が理解できる ・地域保険法の概要が理解できる			
22	【授業単元】医療法① 【授業形態】講義 【到達目標】 ・医療法の目的と理念が理解できる ・病院、診療所等の定義が理解できる ・特定機能病院等の承認要件が理解できる			30	【授業単元】医薬品・医療機器に関する法規 【授業形態】講義 【到達目標】 ・健康増進法の概要が理解できる ・がん登録推進、がん対策基本法の概要が理解できる ・医薬品医療機器等法の概要が理解できる			
23	【授業単元】医療法② 【授業形態】講義 【到達目標】 ・医薬品に対する広告規制が理解できる ・医療の安全確保に関する制度が理解できる ・病院等の開設と管理が理解できる			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。 授業で習得した専門的な知識の理解度、定着度を確認する。 筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。				
【特記事項】 配布プリントは、2年次も継続して使用するものとして、ファイリング等資料整理をすること								

科目名 (英)	医療法規 (Medical Relation Regulation)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	岡嶋 由紀
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 金曜日 1時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、医療に関連する諸制度の知識を習得するための授業を行う。前期で学習した医療保険制度等の理解を深め定着させることを目指す。また社会福祉、労働に関する法律と、医療関連法規の体系を広く理解していくことを目指す。医療法規の問題は、複数の検定試験・認定試験に出題され、それぞれ出題範囲や傾向が異なることを理解し、どの試験にも対応できるように準備することを意識してほしい。							
【到達目標】 前期で学習した法律の理解を深め定着させる。 医療秘書技能検定試験2級に合格する。(領域Ⅰの合格基準を超える。) 診療報酬請求事務能力認定試験の学科問題が解けるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 『医事関連法の完全知識』(医学通信社) ※配布プリントを使用 『医療秘書技能検定試験実問題集2級①』(つちや書店)				【授業外における学習】 各回の配布プリント及び小テストの復習をすること 教科書の該当範囲を読んで理解を深めること			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 医療保険に関する法規① 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・医療介護総合確保推進法の概要を理解する ・健康保険法の理解を深める			9	【授業単元】 診療報酬認定試験対策 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・医療関連法規に関する問題の正答率を上げる		
2	【授業単元】 医療保険に関する法規② 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・船員保険法の理解を深める ・国民健康保険法の理解を深める ・後期高齢者医療確保法の理解を深める			10	【授業単元】 診療報酬認定試験対策 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・医療関連法規に関する問題の正答率を上げる		
3	【授業単元】 医療保険に関する法規③ 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・後期高齢者医療確保法の理解を深める			11	【授業単元】 診療報酬認定試験対策 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・医療関連法規に関する問題の正答率を上げる		
4	【授業単元】 診療報酬に関する法規、療養担当規則 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・診療報酬の請求方法、審査制度の概要が理解できる ・療養担当規則の理解を深める			12	【授業単元】 診療報酬認定試験対策 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・医療関連法規に関する問題の正答率を上げる		
5	【授業単元】 社会福祉に関する法規 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・生活保護法の理解を深める ・障害者総合支援法の理解を深める ・介護保険法の概要を理解する			13	【授業単元】 諸外国の医療保険制度 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・諸外国の医療制度の特徴を理解できる ・日本と諸外国の医療制度の違いを説明できる		
6	【授業単元】 問題演習と解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験2級(領域Ⅰ)の問題を解いて、合格基準を超える解答ができる			14	【授業単元】 諸外国の医療保険制度 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・諸外国の医療制度の特徴を理解できる ・日本と諸外国の医療制度の違いを説明できる		
7	【授業単元】 労働に関する法規 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・労働者災害補償保険法の理解を深める ・働き方改革関連法の概要が理解できる			15	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 健康被害補償に関する法規、その他 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・難病医療法の概要が理解できる ・年金制度の概要が理解できる			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。 授業で習得した専門的な知識の理解度、定着度を確認する。 筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 配布プリントは、2年次も継続して使用するものとして、ファイリング等資料整理をすること							

科目名 (英)	IT基礎理論・知識 (IT Basic theory/knowledge)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	塩原 俊之
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、コンピュータシステム開発の経験を有する教員が、コンピュータ基礎理論・知識を習得する授業を行う。 ITパスポート試験の「テクノロジ系」の出題範囲、医事コンピュータ技能検定「コンピュータ関連知識」の出題範囲であることを認識して受講してほしい。							
【到達目標】 1. ITに関する基礎知識を習得し説明できるようになる。 2. ITパスポート試験における「テクノロジ系」の過去問題が解答できるようになる。 3. 医事コンピュータ技能検定試験3級の「コンピュータ関連知識」の過去問題が解答できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 『改訂医事コンピュータ関連知識』(建帛社)				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 コンピュータと情報表現 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. ITパスポート試験の内容について説明できるようになる 2. 医事コン技能検定試験3級の「コンピュータ関連知識」の問題内容について説明できるようになる 3. CPUの基本的な仕組みについて理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 コンピュータと情報表現 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 情報量の表し方について説明できる 2. デジタル化について説明できる 3. 文字の表現について説明できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 コンピュータの仕組みと動作 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. コンピュータの五大装置の機能について説明できる 2. 入力装置と出力装置について、種類・特徴を説明できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 コンピュータの仕組みと動作 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 補助記憶装置、フラッシュメモリについて説明できる 2. 入出力装置とインターフェースについて、転送形式・種類を説明できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 ソフトウェア 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. ソフトウェアの分類について説明できる 2. OS (オペレーティングシステム)の種類・機能について説明できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 ソフトウェア 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. Windowsの管理機能・基本操作について説明できる 2. ワードプロソフトの機能・文字フォントの種類について説明できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 定期試験				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 試験対策 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 医事コンピュータ技能検定試験3級(領域Ⅱ)の問題演習を行い、時間内に解答できるようになる				【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	IT基礎理論・知識 (IT Basic theory/knowledge)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	塩原 俊之
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、コンピュータシステム開発の経験を有する教員が、コンピュータ基礎理論・知識を習得する授業を行う。 ITパスポート試験の「テクノロジ系」の出題範囲、医事コンピュータ技能検定2級「コンピュータ関連知識」の出題範囲であることを認識して受講してほしい。							
【到達目標】 1. ITに関する基礎知識を習得し、説明できるようになる。 2. ITパスポート試験における「テクノロジ系」の過去問題が解答できるようになる。 3. 医事コンピュータ技能検定試験2級の「コンピュータ関連知識」の過去問題が解答できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 『改訂医事コンピュータ関連知識』(建帛社)				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 ネットワーク 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. ネットワークの形態、構成要素について理解する 2. IoTネットワークについて理解する			9	【授業単元】 システムの構成 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 情報システムの処理形態について説明できる 2. クライアントサーバシステムについて説明できる		
2	【授業単元】 通信プロトコル 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. プロトコルの種類について理解する 2. データ操作について、説明できる 3. トランザクション処理について、説明できる			10	【授業単元】 代表値 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 平均値、中央値、最頻値について説明できる 2. 分散、標準偏差、範囲の意味・求め方を説明できる		
3	【授業単元】 表計算ソフト 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 表計算ソフトの機能について理解する 2. 式、関数について理解する			11	【授業単元】 集合、確率、期待値 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 集合・確率・期待値について説明できる		
4	【授業単元】 表計算ソフト 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 表計算ソフトの機能について理解する 2. 式、関数について理解する			12	【授業単元】 アルゴリズム 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 流れ図について説明できる 2. アルゴリズムの基本構造について説明できる 3. プログラム言語の種類を説明できる		
5	【授業単元】 データベース 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. データベースの特徴とモデルについて理解する 2. DBMS (データベース管理システム) について理解する			13	【授業単元】 データ構造 【授業形態】 【到達目標】 1. データ構造について説明できる 2. スタックとキューについて説明できる		
6	【授業単元】 ファイルの種類と保存形式 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. ファイル形式について理解する 静止画像、動画、音声 2. 情報の圧縮と伸張について理解する			14	【授業単元】 システムの評価指標 【授業形態】 【到達目標】 1. システムの性能について説明できる 2. システムの信頼性について説明できる MTBF, MTTR		
7	【授業単元】 保険医療情報システム 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 保険医療情報システムの基礎知識について説明できる			15	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】 1. 定期試験		
8	【授業単元】 試験対策 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 医事コンピュータ技能検定試験2級 (領域II) の問題演習を行い、時間内に解答できるようになる			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	病院管理 (Hospital management)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	岡嶋 由紀
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 4時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、病院管理の基礎知識を習得するための授業を行う。1年次では、病院の目的と機能、病院の部門、組織や管理の原則といった病院管理における基礎的な知識を学習する。チーム医療や多職種連携に欠かせない、他職種・他部門の役割や業務内容の知識については、医療事務の算定業務と関連づけながら学ぶことで理解を深めていけるよう指導する。病院経営、運営・管理、統計業務、病院会計などは2年次の学習内容とする。							
【到達目標】 各職種及び各部門の役割と業務を学び、診療報酬の算定と関連づけることができる。 医療秘書技能検定試験2級に合格する。(領域Iの合格基準を超える。)							
【使用教科書・教材・参考書】 ※配布プリントを使用『診療点数早見表』(医学通信社) 参考書:『新 医療秘書実務シリーズ2 病院のマネジメント』				【授業外における学習】 各回の配布プリント及び小テストの復習をすること			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 病院の目的と機能 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・病院の目的と機能を説明できる ・日本の病院の特徴を列挙できる ・外来診療及び入院診療のプロセスが理解できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 診療部門、看護部門 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・救急医療と災害時医療と算定を関連づけることができる ・看護部門の業務と算定を関連づけることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 診療技術部門 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・臨床検査科の業務と算定を関連づけることができる ・臨床工学科の業務と算定を関連づけることができる ・診療放射線科の業務と算定を関連づけることができる ・リハビリテーション科の業務と算定を関連づけることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 薬剤部門、栄養・給食部門、事務部門 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・薬剤部門の業務と算定を関連づけることができる ・栄養・給食部門の業務と算定を関連づけることができる ・事務部門の業務と算定を関連づけることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 病院管理と病院の組織 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・病院の経営資源を列挙できる ・組織の基本構造、基本形態を説明できる ・組織(管理)の原則を説明できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 医療安全 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・医療事故と医療過誤の違いを説明できる ・ヒヤリハット事例収集の重要性が理解できる ・医療安全管理体制と算定を関連づけることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 医療の質管理 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・医療の質の3つの側面について説明できる ・医療の質を向上させる具体例を挙げることができる ・質の評価方法が理解できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】				【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。 授業で習得した専門的な知識の理解度、定着度を確認する。 筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 小テストは、第1回～第7回の各回の授業最後に計7回行う。 評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	レセプトコンピュータ I (Medical-Affairs Computer)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	岡嶋 由紀
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45時間 (3)	開講区分	前期
						曜日・時間	金曜日 3・4時限 木曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】							
医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、医事コンピュータの基礎知識と操作技術を習得するための授業を行う。医事コンピュータの操作方法を習得するためには、前提として診療報酬請求事務演習で習得する算定の知識が必須となる。また医事コンピュータの操作を通して診療報酬請求事務演習の理解がより深まることになるため、常に両科目の関連を意識して、より正確な知識と技術の向上を目指してほしい。							
【到達目標】							
医事コンピュータ操作の基礎を学び、診療録形式又は伝票形式から正しい外来レセプトが作成できる。 医事コンピュータ関連知識の問題が解けるようになる。 医事コンピュータ技能検定試験3級に合格する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
『診療点数早見表』(医学通信社) 『《医科》カルテ例題集』(ケアアンドコミュニケーション)				入力スピードに対する不安がある場合は、オープン教室等を利用して、操作の練習をすること			
s 授業概要				回 授業概要			
1	【授業単元】 患者登録と病名情報入力 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・システムの起動、終了ができる ・基本設定、患者登録ができる ・病名情報の入力ができる	13・14	【授業単元】 処置、手術、麻酔(外来) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・処置料の入力ができる ・ギプスの入力ができる ・手術料、麻酔料の入力ができる				
2	【授業単元】 初・再診料 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・初診料、再診料の入力ができる ・同一日複数科受診時の初診・再診料の入力ができる ・会計処理(明細書と領収書の発行)ができる	15・16	【授業単元】 問題演習と解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級(実技)問題を入力し、時間内に合格基準を超える				
3	【授業単元】 投薬 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・内服薬、屯服薬、外用薬の入力ができる ・do操作ができる ・院外処方箋の入力ができる	17・18	【授業単元】 外来診療料 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・外来診療料の入力ができる ・外来診療料の包括内容の確認ができる				
4	【授業単元】 注射、医学管理等 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・注射料の入力ができる ・コメントの登録ができる ・医学管理等の入力ができる	19・20	【授業単元】 医学管理等 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・特定薬剤治療管理料の入力ができる ・悪性腫瘍特異物質治療管理料の入力ができる				
5・6	【授業単元】 検体検査 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・検体検査の入力ができる ・外迅検の入力ができる	21・22	【授業単元】 在宅医療、輸血 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・在宅自己注射指導管理料の入力ができる ・保存血液輸血の入力ができる ・自己血貯血、自己血輸血の入力ができる				
7・8	【授業単元】 生体検査、病理診断 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・生体検査料の入力ができる ・内視鏡検査の入力ができる ・病理診断の入力ができる	23	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 【到達目標】				
9・10	【授業単元】 画像診断(エックス線診断) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・単純撮影の入力ができる ・透視診断と造影剤使用撮影、特殊撮影の入力ができる ・分画と方向、健患比較の入力ができる	24	【授業単元】 問題演習と解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級(実技)問題を入力し、時間内に合格基準を超える				
11・12	【授業単元】 画像診断(コンピューター断層診断) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・CT、MRIの入力ができる ・他医読影の入力ができる ・画像診断管理加算の入力ができる		【評価方法について】 評価は、実技試験で行う。 授業で習得した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。 実技試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。				
【特記事項】							

科目名 (英)	レセプトコンピュータ I (Medical-Affairs Computer)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	岡嶋 由紀
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45時間 (3)	開講区分	後期 曜日・時間 木曜日 2・3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、医事コンピュータの基礎知識と操作技術を習得するための授業を行う。医事コンピュータの操作方法を習得するためには、前提として診療報酬請求事務演習で習得する算定の知識が必須となる。また医事コンピュータの操作を通して診療報酬請求事務演習の理解がより深まることになるため、常に両科目の関連を意識して、より正確な知識と技術の向上を目指すしてほしい。							
【到達目標】 伝票形式から正しい入院レセプトが作成できる。 診療録形式から正しい外来レセプトが作成できる。 医事コンピュータ技能検定試験2級に合格する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社)、『医事コンピュータ技能検定試験2級過去問題集』(ケアアンドコミュニケーション)				【授業外における学習】 入力スピードに対する不安がある場合は、オープン教室等を利用して、操作の練習をすること			
回	授業概要			回	授業概要		
1・2	【授業単元】 入院料、入院時食事療養費 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・入院基本料と入院基本料等加算の設定ができる ・入院時食事療養費の設定ができる			17・18	【授業単元】 認定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・診療報酬請求事務能力認定試験(外来・入院)のレセプト作成ができる		
3・4	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級(実技)問題を入力し、時間内に合格基準を超える			19・20	【授業単元】 認定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・診療報酬請求事務能力認定試験(外来・入院)のレセプト作成ができる		
5・6	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級(実技)問題を入力し、時間内に合格基準を超える			21・22	【授業単元】 認定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・診療報酬請求事務能力認定試験(外来・入院)のレセプト作成ができる		
7・8	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級(実技)問題を入力し、時間内に合格基準を超える			23	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】		
9・10	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級(実技)問題を入力し、時間内に合格基準を超える				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
11・12	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級(実技)問題を入力し、時間内に合格基準を超える				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
13・14	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級(実技)問題を入力し、時間内に合格基準を超える				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
15・16	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級(実技)問題を入力し、時間内に合格基準を超える				【評価方法について】 評価は、実技試験で行う。 授業で習得した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。 実技試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	レセプト演習 I (Medical Examination and Treatment Reward Request Office Work Practice)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	岡嶋 由紀
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	105時間 (7)	開講区分	前期
						曜日・時間	水曜日 3・4時限 木曜日 1・2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】							
医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、診療報酬算定業務を正確に行う知識と技術を得るための授業を行う。診療報酬請求事務演習は本学科の中心となる科目であり、2年間通して学習する科目のため、毎回の授業のノート、プリント類のファイリングを丁寧に行い、常に復習・練習しやすい準備を整えて授業に臨んで欲しい。はじめは一人でテキストを読んでも理解するのが難しい科目のため予習は不要。まずはしっかり授業に臨み、復習・練習を繰り返して欲しい。							
【到達目標】							
医科点数早見表の告示・通知の内容を正しく理解し、診療録(外来・入院)に基づく診療報酬の算定ができる。 レセプト記載要領に従ったレセプト作成ができる。 医療秘書技能検定試験3級に合格する。(領域Ⅲの合格基準を超える。) 診療報酬請求事務能力認定試験の学科問題が解けるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
『診療点数早見表』(医学通信社) ※配布プリントを使用 『《医科》カルテ例題集』(ケアアンドコミュニケーション)				課題、練習問題を解いて授業の復習をすること			
回	授業概要			回	授業概要		
1・2	【授業単元】 初・再診料 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・診療録に基づき、初診料、再診料の判断ができる ・初診料、再診料、加算点数が算定できる ・レセプトの初診欄・再診欄が記載できる			17・18	【授業単元】 画像診断(コンピューター断層診断) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・CT、MRIの算定ができる ・他医読影の算定ができる ・医療秘書技能検定試験(領域Ⅲ)の解答方法がわかる		
3・4	【授業単元】 投薬(院内) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・院内処方と院外処方の算定項目の違いを説明できる ・内服薬、屯服薬、外用薬の区別ができる ・薬価計算と端数処理ができる			19・20	【授業単元】 処置 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・創傷処置、熱傷処置の算定ができる ・整形外科的処置の算定ができる ・処置に使用した薬剤の算定ができる		
5・6	【授業単元】 投薬(院外)、注射 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・レセプトの投薬欄、処方箋欄が記載できる ・注射の手技料が区別できる ・注射薬の容器(瓶と管)の算定の違いが説明できる			21・22	【授業単元】 処置 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・処置の部位とサイズの区別ができる ・ギプスの算定ができる ・医療秘書技能検定試験(領域Ⅲ)の解答方法がわかる		
7・8	【授業単元】 注射、医学管理等 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・レセプトの注射欄が記載できる ・特定疾患患者に関する算定ができる ・紹介状の算定ができる			23・24	【授業単元】 手術、麻酔(外来) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・手術当日に算定できない項目を列記できる ・創傷処理と局所麻酔の算定ができる		
9・10	【授業単元】 レセプト作成 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・レセプトの上書きが記載できる ・初再診料から医学管理等までのレセプトが作成できる			25・26	【授業単元】 在宅医療 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・往診と訪問診療の違いを説明できる ・在宅療養指導管理料と材料加算を組み合わせができる		
11・12	【授業単元】 検査(検体検査)、医学管理等 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・検査の分類と算定項目の違いを説明できる ・検体検査料の算定ができる ・腫瘍マーカーの検査料と管理料の算定が区別できる			27・28	【授業単元】 リハビリテーション料、精神科専門療法、放射線治療 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・疾患別リハビリテーションの違いを説明できる ・医療秘書技能検定試験3級(領域Ⅲ)の問題を実施し、時間内に合格基準を超える		
13・14	【授業単元】 検査(生体検査)、病理診断 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・生体検査料の算定ができる ・内視鏡検査の算定ができる ・病理診断の算定ができる			29・30	【授業単元】 問題演習と解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験3級(領域Ⅲ)の問題を実施し、時間内に合格基準を超える ・医事コンピュータ技能検定試験3級(領域Ⅰ)の問題を実施し、時間内に合格基準を超える		
15・16	【授業単元】 画像診断(エックス線診断) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・画像診断の種類が区別できる ・単純撮影と造影剤使用撮影の算定ができる ・分画と方向、対称器官の算定ができる			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。 授業で習得した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。 筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】							
配布プリントは、2年次も継続して使用するものとして、ファイリング等資料整理をすること。毎回電卓を持参すること。							

科目名 (英)	レセプト演習 I (Medical Examination and Treatment Reward Request Office Work Practice)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	岡嶋 由紀
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	105時間 (7)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 3・4時限 木曜日 1・2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】							
医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、診療報酬算定業務を正確に行う知識と技術を習得するための授業を行う。診療報酬請求事務演習は本学科の中心となる科目であり、2年間通して学習する科目のため、毎回の授業のノート、プリント類のファイリングを丁寧に、常に復習・練習しやすい準備を整えて授業に臨んで欲しい。はじめは一人でテキストを読んでも理解するのが難しい科目のため予習は不要。まずはしっかり授業に臨み、復習・練習を繰り返して欲しい。							
【到達目標】							
医科点数早見表の告示・通知の内容を正しく理解し、診療録(外来・入院)に基づく診療報酬の算定ができる。 レセプト記載要領に従ったレセプト作成ができる。 医療秘書技能検定試験3級に合格する。(領域Ⅲの合格基準を超える。) 診療報酬請求事務能力認定試験の学科問題が解けるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
『診療点数早見表』(医学通信社) ※配布プリントを使用 『《医科》カルテ例題集』(ケアアンドコミュニケーション)				課題、練習問題を解いて授業の復習をすること			
回	授業概要			回	授業概要		
31・32	【授業単元】 問題演習と解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験3級(領域Ⅲ)の問題を実施し、時間内に合格基準を超える ・医事コンピュータ技能検定試験3級(領域Ⅰ)の問題を実施し、時間内に合格基準を超える			47・48	【授業単元】 検査(入院と外来の相違点)、画像診断 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・入院と外来の相違点を理解した算定ができる ・同一月、外来で算定済の点数の確認ができる		
33・34	【授業単元】 問題演習と解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験3級(領域Ⅲ)の問題を実施し、時間内に合格基準を超える ・医事コンピュータ技能検定試験3級(領域Ⅰ)の問題を実施し、時間内に合格基準を超える			49・50	【授業単元】 入院料、入院時食事療養費 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・一般病棟入院基本料の算定ができる ・入院基本料等加算の算定ができる ・入院時食事療養費の算定ができる		
35・36	【授業単元】 初・再診料 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・外来診療料の算定ができる			51・52	【授業単元】 入院料通則 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・入院料等通則の内容が理解できる		
37・38	【授業単元】 医学管理等 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・特定薬剤治療管理料の算定ができる ・悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定ができる			53	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】		
39・40	【授業単元】 医学管理等、投薬、注射(入院と外来の相違点) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・主に入院で算定する医学管理等の算定ができる ・入院の調剤料が算定できる ・入院と外来の相違点を理解した注射料の算定ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
41・42	【授業単元】 在宅医療、処置 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・在宅自己注射指導管理料の算定ができる ・「1日につき」の処置料が算定できる ・酸素代の計算ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
43・44	【授業単元】 処置、手術 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・処置に使用する特定保険医療材料が算定できる ・手術当日の算定ができる ・手術医療機器等加算の算定ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
45・46	【授業単元】 手術、輸血、麻酔 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・輸血の算定ができる ・複数手術を実施した場合の算定ができる ・複数区分に当たる閉麻の算定ができる				【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。 授業で習得した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。 筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】							
配布プリントは、2年次も継続して使用するものとして、ファイリング等資料整理をすること。毎回電卓を持参すること。							

科目名 (英)	レセプト演習 I (Medical Examination and Treatment Reward Request Office Work Practice)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	岡嶋 由紀
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	75時間 (5)	開講区分	後期 曜日・時間 水曜日 1・2時限 木曜日 1時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、診療報酬算定業務を正確に行う知識と技術を習得するための授業を行う。診療報酬請求事務演習は本学科の中心となる科目であり、2年間通して学習する科目のため、毎回の授業のノート、プリント類のファイリングを丁寧に行い、常に復習・練習しやすい準備を整えて授業に臨んで欲しい。はじめは一人でテキストを読んでも理解するのが難しい科目のため予習は不要。まずはしっかり授業に臨み、復習・練習を繰り返して欲しい。							
【到達目標】 医療秘書技能検定試験2級に合格する。(領域Ⅲの合格基準を超える。) 医事コンピュータ技能検定試験の学科問題が解けるようになる。 診療報酬請求事務能力認定試験に合格する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社) ※配布プリントを使用 『診療報酬請求事務能力認定試験 受験対策と予想問題集』(医学通信社)				【授業外における学習】 課題、練習問題を解いて授業の復習をすること			
回	授業概要			回	授業概要		
1・2	【授業単元】レセプト作成(入院) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・入院診療録から入院料、食事の算定とレセプト記載ができる			13・14	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・診療報酬認定試験(外来)のレセプト作成ができる ・医事コンピュータ技能検定試験2級(医療事務)問題の出題傾向と解答方法を理解する		
3	【授業単元】診療報酬学科対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・診療報酬認定試験の学科問題の解答方法を習得する			15	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験2級(領域Ⅲ)の問題を実施し、時間内に合格基準を超える		
4・5	【授業単元】レセプト作成(入院) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・診療報酬認定試験(入院)のレセプト作成ができる			16・17	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・診療報酬認定試験(外来)のレセプト作成ができる ・医事コンピュータ技能検定試験2級(医療事務)問題の出題傾向と解答方法を理解する		
6	【授業単元】特定入院料、短期滞在手術等基本料 【授業形態】演習 【到達目標】 ・特定入院料の考え方が分かる ・短期滞在手術等基本料の考え方がわかる			18	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験2級(領域Ⅲ)の問題を実施し、時間内に合格基準を超える		
7・8	【授業単元】レセプト作成(入院) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・診療報酬認定試験(入院)のレセプト作成ができる			19・20	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験2級(領域Ⅲ)の問題を実施し、時間内に合格基準を超える ・医事コンピュータ技能検定試験2級(医療事務)問題の出題傾向と解答方法を理解する		
9	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験2級(領域Ⅲ)の問題を実施し、時間内に合格基準を超える			21	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験2級(領域Ⅲ)の問題を実施し、時間内に合格基準を超える		
10・11	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・診療報酬認定試験(外来)のレセプト作成ができる ・医事コンピュータ技能検定試験2級(医療事務)問題の出題傾向と解答方法を理解する			22・23	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・診療報酬認定試験(外来)のレセプト作成ができる ・医事コンピュータ技能検定試験2級(医療事務)問題の出題傾向と解答方法を理解する		
12	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験2級(領域Ⅲ)の問題を実施し、時間内に合格基準を超える			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。 授業で習得した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。 筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 配布プリントは、2年次も継続して使用するものとして、ファイリング等資料整理をすること。毎回電卓を持参すること。							

科目名 (英)	レセプト演習 I (Medical Examination and Treatment Reward Request Office Work Practice)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	岡嶋 由紀
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	75時間 (5)	開講区分	後期 曜日・時間 水曜日 1・2時限 木曜日 1時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、診療報酬算定業務を正確に行う知識と技術を習得するための授業を行う。診療報酬請求事務演習は本学科の中心となる科目であり、2年間通して学習する科目のため、毎回の授業のノート、プリント類のファイリングを丁寧に、常に復習・練習しやすい準備を整えて授業に臨んで欲しい。はじめは一人でテキストを読んでも理解するのが難しい科目のため予習は不要。まずはしっかり授業に臨み、復習・練習を繰り返して欲しい。							
【到達目標】 医療秘書技能検定試験2級に合格する。(領域Ⅲの合格基準を超える。) 医事コンピュータ技能検定試験の学科問題が解けるようになる。 診療報酬請求事務能力認定試験に合格する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社) ※配布プリントを使用 『診療報酬請求事務能力認定試験 受験対策と予想問題集』(医学通信社)				【授業外における学習】 課題、練習問題を解いて授業の復習をすること			
回	授業概要			回	授業概要		
24	【授業単元】 認定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・診療報酬認定試験の学科問題の解答方法を習得する			35	【授業単元】 レセプト点検 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・診療内容とレセプトを比較して、間違いを訂正できる ・レセプトを見て、間違いを訂正できる		
25・26	【授業単元】 認定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・診療報酬認定試験(入院)のレセプト作成ができる			36	【授業単元】 レセプト点検 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・診療内容とレセプトを比較して、間違いを訂正できる ・レセプトを見て、間違いを訂正できる		
27	【授業単元】 認定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・診療報酬認定試験の学科問題の解答方法を習得する			37	【授業単元】 点数改正について 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・点数改正のスケジュールを理解する ・次年度改正の骨子を理解する		
28・29	【授業単元】 認定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・診療報酬請求事務能力認定試験(外来・入院)のレセプト作成ができる			38	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】		
30	【授業単元】 認定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・診療報酬請求事務能力認定試験学科問題の正答率を上げる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
31・32	【授業単元】 認定試験対策(模擬試験) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に、学科問題で75点以上得点する ・時間内に、実技問題で85点以上得点する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
33	【授業単元】 認定試験対策(模擬試験) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・解説すべき課題を見つけ、対策方法を挙げる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
34	【授業単元】 レセプト点検 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・診療内容とレセプトを比較して、間違いを訂正できる ・レセプトを見て、間違いを訂正できる				【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。 授業で習得した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。 筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】 配布プリントは、2年次も継続して使用するものとして、ファイリング等資料整理をすること。毎回電卓を持参すること。							

科目名 (英)	臨床実技演習 (Clinical Practical Exercise)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	サラム 美保子
学科・コース	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 火曜日 3時限 又は/4時限

【授業の学習内容と心構え】

看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対する教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のために貢献してきた教員が、医療の現場で行われている患者様へのサポートや医療行為などを体験型で授業を行う。 ※この授業は生徒同士の接触もあるため、感染症などの発生状況及び季節事象により授業内容の順番が一部変更になることがあります。

【到達目標】

体の一部が不自由になった場合やそれに対するサポートを体験することにより、障害とはどのような感覚なのか、それに対してどのようなサポートが必要なのか、患者様の立場に立ちその重要性を認識することができる。 それにより、医療のスペシャリストとしての自覚を構築し、その意識を持って職場に臨むことができる。また、この経験を自身の生活にも活かしてほしい。

【使用教科書・教材・参考書】

各授業毎に重要事項を記入するプリントを配布 この授業は生徒同士の接触もあるため、感染症などの発生状況及び季節事象により授業内容の順番が一部変更になることがあります。

【授業外における学習】

各授業で配布したプリント内容の復習  
授業内容を実習の現場で活かす

回	授業概要	回	授業概要
1	<p>【授業単元】 血圧について</p> <p>【授業形態】 講義・体験型実習</p> <p>【到達目標】 生活習慣病である高血圧について理解を深め、体への影響を知ることができる 実際に血圧を測定し、自分の血圧値を知る</p>		
2	<p>【授業単元】 車椅子の取扱いについて</p> <p>【授業形態】 講義・体験型実習</p> <p>【到達目標】 車椅子取扱い時の注意点を理解し、安全に操作することができる 乗車側と介助者側を体験し、双方の留意すべき点を見出すことができる</p>		
3	<p>【授業単元】 視覚障害について</p> <p>【授業形態】 講義・体験型実習</p> <p>【到達目標】 視覚障害とはどのような状態なのか、実際に体験して視覚障害者へのサポートの必要性を理解する</p>		
4	<p>【授業単元】 体位変換について</p> <p>【授業形態】 講義・体験型実習</p> <p>【到達目標】 体位変換の必要性を理解する 実際に体位変換を行い、実施時の注意事項を理解する</p>		実
5	<p>【授業単元】 心臓及び消化器臓器について</p> <p>【授業形態】 講義</p> <p>【到達目標】 心臓の構造及び消化器系臓器の位置を再確認し、実際の臨床での検査や治療などの状況が理解できるようにする。</p>		
6	<p>【授業単元】 2D人体モデル(スケルトンモデル)作成</p> <p>【授業形態】 講義・体験型実習</p> <p>【到達目標】 1年間の総復習として、体の構造を振り返り、骨格や臓器の適切な位置を完全に理解する</p>		
7	<p>【授業単元】 呼吸困難について/胸郭モデルの作成</p> <p>【授業形態】 講義・体験型実習</p> <p>【到達目標】 呼吸が苦しいということはどういうことなのかを知る 実際に動脈血酸素飽和度を測定して、自分のSpO<sub>2</sub>を知る</p>		実
8	<p>【授業単元】 定期試験 (60点満点)</p> <p>【授業形態】 筆記試験</p>		<p>【評価について】 評価は筆記試験で行う。・小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 ・小テストは、第1・2・3・4回は体験に対するレポートを書いて提出、第6・7回は作成物を提出する。 ・評価は学則規定に準ずる。</p>

【特記事項】

授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリントに必ず重要事項を記入すること。

科目名 (英)	検定対策講座 I (Official Approval Measure Lecture)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	岡嶋 由紀、サラメ 美保子
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務の実務経験を有し、社会人教育や専門学校での指導経験を有する講師が、医療秘書技能検定試験、医事コンピュータ技能検定試験合格に向けての対策授業を行う。過去問題演習を中心に、診療報酬請求事務演習、医事コンピュータ等、検定関連科目で習得した知識と技術の定着及び弱点の克服を目指す。							
【到達目標】 検定問題の出題傾向を知り、効果的な解答方法を習得する。 医療秘書技能検定試験3級に合格する。 医事コンピュータ技能検定試験3級に合格する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社)、『コンピュータ関連知識』(建帛社) 『医事コンピュータ技能検定問題集3級①』(つちや書店)				【授業外における学習】 過去問題を繰り返し解いて、理解していない問題を発見し、克服すること オープン教室等を利用して、医事コンピュータの苦手な操作を練習すること			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】医療秘書技能検定(医学) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる			9	【授業単元】医事コンピュータ技能検定(実技) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に入力し、8割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる		
2	【授業単元】医療秘書技能検定(医学) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる			10	【授業単元】医事コンピュータ技能検定(実技) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に入力し、8割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる		
3	【授業単元】医療秘書技能検定(医療事務) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる			11	【授業単元】医事コンピュータ技能検定(実技) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に入力し、8割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる		
4	【授業単元】医療秘書技能検定(医療事務) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる			12	【授業単元】医事コンピュータ技能検定(医療事務) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる		
5	【授業単元】医事コンピュータ技能検定(医療事務) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる			13	【授業単元】医事コンピュータ技能検定(医療事務) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる		
6	【授業単元】医事コンピュータ技能検定(医療事務) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる			14	【授業単元】医事コンピュータ技能検定(医療事務) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる		
7	【授業単元】医事コンピュータ技能検定(関連知識) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる			15	【授業単元】振り返り 【授業形態】演習 【到達目標】		
8	【授業単元】医事コンピュータ技能検定(関連知識) 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる			【評価方法について】 評価は、出席点のみで評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	検定対策講座Ⅱ (Official Approval Measure Lecture)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	岡嶋 由紀、サラメ 美保子
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分	後期 集中
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務の実務経験を有し、社会人教育や専門学校での指導経験を有する講師が、医療秘書技能検定試験、医事コンピュータ技能検定試験合格に向けての対策授業を行う。過去問題演習を中心に、診療報酬請求事務演習、医事コンピュータ等、検定関連科目で習得した知識と技術の定着及び弱点の克服を目指す。							
【到達目標】 検定問題の出題傾向を知り、効果的な解答方法を習得する。 医療秘書技能検定試験2級に合格する。 医事コンピュータ技能検定試験2級に合格する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社)、『コンピュータ関連知識』(建帛社) 『医事コンピュータ技能検定問題集3級①』(つちや書店)				【授業外における学習】 過去問題を繰り返し解いて、理解していない問題を発見し、克服すること オープン教室等を利用して、医事コンピュータの苦手の操作を練習すること			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 医療秘書技能検定(医学) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる			9	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定(実技) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に入力し、8割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる		
2	【授業単元】 医療秘書技能検定(医学) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる			10	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定(実技) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に入力し、8割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる		
3	【授業単元】 医療秘書技能検定(医療事務) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる			11	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定(実技) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に入力し、8割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる		
4	【授業単元】 医療秘書技能検定(医療事務) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる			12	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定(医療事務) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる		
5	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定(医療事務) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる			13	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定(医療事務) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる		
6	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定(医療事務) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる			14	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定(医療事務) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・不正解の理由を説明できる		
7	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定(関連知識) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる			15	【授業単元】 振り返り 【授業形態】 演習 【到達目標】		
8	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定(関連知識) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる			【評価方法について】 評価は、出席点とレポートで評価する。			
【特記事項】							